

～杉の木さん、長い間おつかれさま～ 一般国道13号(新庄市泉田地内) 倒木のおそれがある古木を伐採しました

本日、平成20年7月30日(水)、一般国道13号歩道植樹帯(新庄市泉田地内)の杉の古木の伐採作業を行いました。

この杉の古木は2年前に落雷の被害に遭い樹勢の衰えが顕著となっており、立ち枯れによる**倒木のおそれ**がありました。

専門家の診断でも回復の見込みがないことから、**車両や歩行者の安全を確保するため**伐採することとなりました。

ひとくちメモ … 「泉田往還(おうかん)の並木」

この杉の古木は江戸時代、羽州街道を通行する旅人の心を癒すため、また距離の目安として1町(=60間=約109m)ごとに植えられた並木の名残をとどめるもので、地元では「泉田往還の並木」と呼ばれ親しまれていましたが、国道の拡幅や台風の被害等により、現在は杉の木2本(今回伐採の古木含む)、松の木1本のみとなっていました。



昭和31年頃の並木の様子
「新庄市史」より

1. 場所



伐採する木の下に『予告看板』を設置していました

<伐採する前の杉の木の写真>



根本付近は根腐れが進んでおり倒木の危険がありました



2. 作業の様子(1)

伐採作業に先立ち、業者さんが新田(にった)神社の神主様にお祓いをしていただきました。



伐採作業は3回に分けて行いました。



高所作業車を使って伐採作業開始。
木の破片が飛散しないよう気をつけながら...



1回目完了。



続いて2回目。



大型クレーン車の作業員(右写真)。決してミスの許されない作業に、額に汗がにじみます。



次項へ続く→

2. 作業の様子(2)

いよいよ最後の伐採。



沿線住民の方もその瞬間を見守りました。



幹の中心付近は腐敗していました。

切り株の長さは直径約140cm。年輪を数えたところ、樹齢およそ175～180と推測されます。



最後に現場を清掃して作業完了。

切り株の取り除き作業は8月上旬を予定。



平成17年度撮影。落雷被害に遭う前の杉の木。往時の姿は決して忘れません。



伐採作業に伴う交通規制にご協力いただきました沿線住民やドライバーの皆様、ありがとうございました。

<お問い合わせ先>

国土交通省 山形河川国道事務所 新庄国道維持出張所長 増澤 亨
〒996-0041 山形県新庄市大字鳥越字舟田608-2
TEL 0233-22-1581 FAX 0233-22-8396